

法人企業統計調査(平成29年4～6月)
「継続標本のみを用いた計数による前年同期比増加率の参考提供」

平成28年3月22日付で統計委員会から公表された「平成26年度統計法施行状況に関する審議結果報告書(未諮問基幹統計確認関連分)」の提言に基づき、「継続標本のみを用いた計数による前年同期比増加率」を以下のとおり参考提供します。

(注1) 継続標本の定義

継続標本とは、「前年同期」及び「当期」ともに標本となった法人のことをいう。

(注2) 推計方法について

継続標本から母集団推計を行うために、全数調査部分(資本金5億円以上)は未回収部分に対する補完を行い算定し、標本調査部分(資本金5億円未満)は「前年同期」及び「当期」ともに回答した法人のみを使用して、推計用乗率の再算出を行い算定している。

(詳細については、下記報告書の内容をご参照ください。)

調査期	売上高			営業利益			経常利益			設備投資		
	全産業	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業
2016 1～3月	▲ 3.5	▲ 4.5	▲ 3.0	▲ 3.4	▲ 15.1	1.2	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 9.2	2.5	1.6	2.9
2016 4～6月	▲ 3.4	▲ 5.0	▲ 2.7	▲ 5.7	▲ 16.2	▲ 1.7	▲ 9.0	▲ 23.9	▲ 0.7	3.2	2.9	3.3
2016 7～9月	▲ 2.7	▲ 3.6	▲ 2.3	▲ 0.3	▲ 28.1	13.8	14.3	▲ 18.7	32.6	▲ 1.1	▲ 2.6	▲ 0.3
2016 10～12月	0.1	▲ 0.3	0.2	11.1	13.4	10.1	20.5	22.1	19.7	1.9	6.9	▲ 0.9
2017 1～3月	3.9	4.3	3.8	10.5	39.8	1.3	28.0	69.4	13.0	4.6	▲ 3.0	8.9
2017 4～6月	5.8	6.9	5.4	14.2	31.9	7.8	22.6	44.7	12.9	6.1	▲ 2.1	11.0

(注1) 全産業及び非製造業には、金融業、保険業は含まれていない。

(注2) 継続標本のみを用い母集団推計を行っているため、本系列に比べ、サンプルサイズが小さくなることに留意が必要である。

調査期	売上高			営業利益			経常利益			設備投資		
	大企業	中堅企業	中小企業	大企業	中堅企業	中小企業	大企業	中堅企業	中小企業	大企業	中堅企業	中小企業
2016 1～3月	▲ 5.6	▲ 3.2	▲ 1.4	▲ 9.3	▲ 1.8	2.4	▲ 19.6	▲ 5.1	▲ 5.3	7.3	▲ 0.3	▲ 6.1
2016 4～6月	▲ 7.6	▲ 1.8	0.4	▲ 14.5	5.0	12.0	▲ 15.6	1.2	6.9	1.9	▲ 1.8	8.5
2016 7～9月	▲ 6.3	▲ 1.4	0.7	▲ 11.9	9.4	17.1	15.7	12.3	12.7	▲ 1.8	3.2	▲ 2.5
2016 10～12月	▲ 2.0	0.4	2.1	8.6	15.3	12.3	22.3	14.4	20.8	2.3	7.6	▲ 2.4
2017 1～3月	3.5	3.6	4.6	14.8	11.2	5.7	47.2	14.6	14.8	0.1	17.3	8.0
2017 4～6月	8.2	4.8	3.9	11.0	13.8	21.0	20.2	21.4	29.3	▲ 0.3	11.5	16.8

(注1) 全産業には、金融業、保険業は含まれていない。

(注2) 継続標本のみを用い母集団推計を行っているため、本系列に比べ、サンプルサイズが小さくなることに留意が必要である。

2017 4～6月	全産業	製造業	非製造業
参考系列 回答法人数(社)	12,475	4,109	8,366

(注) 回答法人数とは、「継続標本」のうち「当期」に回答した全数調査部分の法人数と、「前年同期」及び「当期」ともに回答した標本調査部分の法人数とを合算したものである。

2017 4～6月 参考系列 標準誤差率 (%)	売上高			設備投資		
	全産業	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業
	2.3	1.6	3.1	3.0	3.6	4.1

(注1) 営業利益及び経常利益については、標準誤差率の算出は行っていない。

(注2) 「参考系列標準誤差率」とは、継続標本のみを用いて推計された母集団の値の誤差率である。

(※) 継続標本のみを用いた計数の算出方法等の詳細は統計数理研究所 土屋教授「法人企業統計調査における継続標本による母集団推計の試算報告書」をご参照願います。

<http://www.mof.go.jp/pri/reference/ssc/bunseki/report290124.pdf>